



編集発行
羽津北小学校
PTA広報部
印刷
阿竹印刷工業(株)

第 30 号

おめでとう! 90人のけやきっ子



子どもへの期待

校長 伴 好

御子弟の入学から早くも二か月近くなりましたが、どの子どもも生き生きと学校生活を送っているのは、何より喜ばしいことです。入学式では、私から次の三つのことをお願いしました。

- 1、自分のことは自分でする。
- 2、友だちと仲よくする。
- 3、事故のないよう注意する。

現在、特にこれについての問題もなく、御家庭のよき指導にも負うところが大きいと思います。

入学を契機に、親の子に寄せる関心や期待も大きく、また、子ども自身も意欲的です。「ハイ、ハイ」という一年生の

『一年生を、むかえて思ったこと』 児童会会長 水谷朋裕

四月から羽津北には、3クラスの一年生が入学しました。

ぼくが、この一年生をむかえて思ったことは、遠足の時のことです。わりとにぎやかで、少しなまいきな所がありました。ぼくは、いっしょに手をつないだ子に頭をたたかれました。でも、正直です。なおな子でした。ぼくが一年生のときは、

一年生が入学して 二年 宮嶋真也

一年生が入がくしてくるときいてぼくは、あそびかたをおしえてあげようと、おもった。ぼくが、一年生のとき、大きなおにいさんやおねえさんにたくさんあ

元気な声が校長室まで聞こえてきます。しかし、月日の経過とともに、忘れ物、生活習慣の乱れ、いじめ等々が増え、逆に、親の期待は薄れていく傾向があります。その要因の一つに知育偏重があり、授業で活躍しない、学習成績が芳しくないの、見切りをつけたりすることはないでしょうか。

教育の中で知育はもちろん大事なことではありますが、豊かな心もち、心身を鍛えることも大切です。

万能でなくても、子どものもつ長所を認め、それに期待することが、子どもを活かす道であると思います。

同じ組の子とは、にぎやかでしたが、六年生とはしゃべりませんでした。こういうのが、今年の一年生のいい所です。

古市先生がおっしゃいましたが、「少しなまいきで、すなおな子がのびるといいました。その通りです。だから一年生の子はのびる」と思いました。

そびをおしえてもらったのでうれしかったです。たくさん一年生とあそんでやりたいです。

かがやくひとみ



目の輝きを大切に

一組担任 平田田美子

今年もまた、新しい出会いがや
つて来ました。六十個の光り輝く
瞳が、「よし、この子たちと一年間
がんばるんだ」という決心を私
に固めさせます。

一年生の子ども達にとつて、初
めての学校生活。子ども達は、戸
惑いながら、ひとつひとつの事に
全力で取りこんでいます。一年生
だからできる挑戦。この時の輝の
輝きを大切に、前進していっ
てください。

内田 有(母・夏子)
いつもの明るさ失わず、たくさん
の友達を作つて下さいね。そして楽
しい学校生活を!

大沢 秀介(母・穂志代)
いつまでも一年生の時の緊張を忘
れずに何事も真剣に取り組む気持ち
を忘れずに持つてほしいです。

後藤 幸人(母・和代)
とにかく友達を、たくさん作つて、
明るく、楽しい学校生活を送つて、
元気一杯に頑張つてね。

江波 徹(母・京子)
お友達を大切に、思いやりの心を
忘れず、明るくのびのびとした学校
生活を送つてほしい。

金光 祥剛(母・美也子)
入学してから、早いもので一カ月
半たちました。学校がイヤノともい
わず毎日元気に学校へ通つています。

上原 基喜(母・まゆみ)
自分からいろんなことをどんどん
経験して、心も体もたくましくやさ
しい子になつてほしいです。

服部 克俊(母・巴弥子)
「学校へ行くの楽しいよ」と聞いて、
ひと安心。健康に気をつけ、のんび
りマイペースで進んで下さい。

脇屋 健司(母・晴美)
勉強に運動に精一杯頑張つて、ま
た名前のように健やかに育つてくれ
るように願っています。

林 烈(母・光子)
人を思いやり、友達がたくさん出
来る様、たくましく育つてほしいと
願っています。

大久保友直(母・和子)
人生で一度しかない小学一年生。
どんなことにも全力でぶつかつて、
良い思い出をたくさんつくろう。

塩崎 健一(母・佳志子)
早く学校生活になれて、たのしく
元気で過ごせるようになってほしい
です。

松田 孝紀(母・まり子)
やっと人生の第一歩に立ちました。
無理なく自然に過ごしてほしいと思
います。

瀬古麻衣子(母・るり子)
一日でも早く、学校に慣れて、よ
く遊び、よく学び、元気に過ごして
いってください。

今岡 郁子(母・喜久子)
一年生になつて友だちがたくさん
できて喜んでおります。これからも
元気な明るい子でいてほしい。

種村 朱根(母・里美)
お友達をたくさんつくつて思いつ
き遊び、明るい子であり、人に好
まれる子であつてほしい。

草深 梨恵(母・美智子)
いつまでも、明るく、すなおで、
思いやりのあるやさしい子供でい
て下さいね。

荒木 智子(母・祥子)
背中のランドセルが重そうだね。
カタツムリになつたつもりで、ゆっ
くりのんびりあるいていこうね。

服部栄利子(母・幸子)
友達もいっぱい出来、学校の楽し
かった話を話してくれそうです。でもチ
ョット忘れ物が目立ちます。

佐藤 真弓(母・智子)
ピカピカの一年生。心にもピカッ
と何か輝くものを持ち続ける子であ
つてほしいですね。

伊藤 由華(母・典子)
いつも元気一杯の由華、泣いて、
笑つて、勉強して、沢山友達を見つ
け、何にでも挑戦して頑張つてね。

川北 聖子(母・香代子)
一年生の我が子が、先生のお話を
いままで十分しか聞けなかつた。少
しでも長く持続する事を期待します。

石川 輝子(母・信子)
一人でも多くの友達を作り、勉強、
遊びに、いろんな発見をして、希望
のある毎日にしてほしい。

西脇 里佳(母・清子)
学校一六年間お世話になります。
りかちゃん、毎日たいへんだけど
がんばつて通学して下さいね。

森 恵子(母・豊子)
ぴかぴかの一年生、けいちゃん、
あそびに、べんきょうに、大いに、
はばたいてほしい!

伊藤 麻美(母・早苗)
ランドセルの中が重くなつて、学
校生活も少しずつなれてきましたね。
楽しく仲よく生活してね。

今村 晃子(母・恵子)
一年生になつてから、早寝早起き
できるようにしましたね。勉強も
大変ですが、がんばつてね。

中西 和恵(母・さよ子)
思いやりと、じぶんをだいにし
て、ともだちをたくさんつくつてく
ださい。

せんせい あのね



教室の「こ」
一組担任 小川美和子

「このへやから始めたらいかな。」
「ひだりのうえー。」
「そつ。」
「やつて、ちやつと右土がりに書
んだよ。まつすべにびーんと書か
ないで、すこしまがつてね。」
「びりがなは、ほとんど曲線だからむす
かしいですね。」
「せんせい、あかん
じかいてー。」
「子どもたちは、こ
んなふうになるとだめだよ。」
「どう見本が大好きです。大喜びで見
ています。でも、本当のお手本の
方をよく見て、日本語の基礎、が
なつて書けるうね。」

千田 禅(母・加代子)
いちねんせいのおにいちゃん、お
もいつきり、あそんだあとには、へん
きょうも、がんばろうね。

谷口 昌志(母・文江)
朝、元気に姉と出かける後ろ姿を
見送って、「今日も無事故でね」と祈
る。たくましく、やさしく育つてね。

天野 真吾(母・久美子)
段ボールを見ると、口ポツと新
幹線に変身させる様に、いろいろな
事に挑戦して下さい。

石井 泰親(母・己恵子)
早く学校生活に慣れ、たくさんの
お友達を作り、「よく遊び、よく学び」
の気持ちでがんばろうね。

川島 信哉(母・純子)
保育園に行っていた時も、少しは
自分でしていました。学校に入っ
て、何でも出来る様になりました。

伊藤 豊(母・淑子)
毎日学校で、一字ずつ勉強してい
く様に、毎日「ひつひつ」、新しい発見
をし、心を豊かにしてほしい。

澄川 寛明(母・恵子)
入学あめでどうも。ななご(ママ)と
とちゆうでなげださないで、さいごい
までがんばろうね。

藤井 寿(母・とも子)
ランドセルで、背中いつぱい汗を
かいて帰ってくる恵子に、健康で、
男の子らしく育つてほしい。

二村 雄一(母・秀子)
「このい、ならった」とうれしそ
うに新しい発見、知識を喜ぶ気持ち、
その気持ちを大切にしてほしい。

加藤 靖久(母・映子)
先生のお話をよく聞いて、何事に
も努力していく心を忘れないで、ガ
んばってほしいです。

池田 裕志(母・よ子)
「がんばろうね、」
身体をきたえ、毎日元気で学校へ
通えるよう、がんばろうね。

藤村 篤史(母・洋子)
今、学校で一番おもしろい事は「登
り棒」と言う篤史。次に見つける楽
しい事は何か。教えてね。

岩下 絵美(母・眞里子)
仲の良い友達をいっぱい作って楽
しく、ゆかいな一年生になってね。
たまには勉強もしてね。

渡辺 由佳(母・敦子)
由佳は道草が大好き。これからも
道草をしながら、いい事をいっぱい
見つけて歩いてほしい。

後藤 香織(母・明美)
わが娘へ
一年生になって、毎日勉強がんば
っているね。これからも「ファイト」
をつけてね。

前川 有紀(母・照代)
感謝する心を忘れないでほしいね。
どいつかかたがた「ありがとう」
という言葉がこぼれてほしいです。

飯田ゆかり(父・克己)
大きな期待と不安を胸に、学校の
門をくぐったわが子。純粋な気の
持ちを長く持ち続けてほしい。

角地麻奈美(母・陽子)
「だんばの如くに、」
いつも愛おしく、けれど、どこか
根強く明るく頑張りましよう。

伊藤 由起(母・眞弓)
小学校入学あめでどう。おともだ
ち、たくさんつくってね。まいにち
元気に、学校へかよってね。

木下 清栄(母・昌子)
「いつてきます」と「おかえり」が
まだなれないのかしりませんが、言
ってほしいとおもいます。

川村 華代(母・雅子)
何事でも最後まで、一生懸命に頑張
ってね。いろいろな事に挑戦するこ
も、たいへんだけれど楽しんでよ。

小林 夕子(母・恵美子)
最近元気な登校しているの、
ホッとしています。元気が一番、こ
れからもがんばってね。

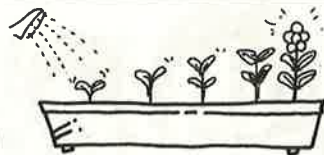
山本 尚未(母・和美)
毎日、長い道中そして勉強、初め
ての体験がいっぱいだけれど、元気に
明るくがんばって下さいね。

濱野 亜由(母・忍)
勉強も大事ですが、多くの友達を
作り、多くの遊びを覚え、多くの思
い出を作ってください。

寺本麻美子(母・美也子)
不安もあつたようですが、新しい
環境が気に入っているようです。元
気に通ってくわれるのが一番です。

広瀬 自希(母・智子)
なにもかも新鮮で、新しい出来事
ばかりで大変ですが、無理をせずに、
自分のペースでがんばって下さい。

小森 育美(母・かつみ)
協調性のあつ子供に、育つてほし
いと思っています。



おおきく、 おおきく



大きく育て

三組担任 本間 和子

放課後の日課となった、朝顔の水やり。

最初に芽を見つけた時は、大騒ぎでした。それから、心配そうな顔で、のぞきに行くようになった子どもたち。そんな顔を思い浮かべながら、「大きくなれ。大きくなれ。」と言いつづける水やり。

多少の早い遅いはあっても、どの子ども、朝顔に負けないように、大きく大きく、伸びていつてほしいです。

柳井 孝洋(田・紀代子)
友だちと仲よく遊ぶ子になってほしいなと思います。

水谷 卓矢(田・牧子)
小学校に入学してから、とてもがんばり屋さんになった卓矢。これからも、がんばってネ。

中島 慶卓(田・百合子)
新しいこと、珍しいことに変な味を示すのり君ノいくつになっても一年生の心を忘れないで。

真栄城貴史(田・ますみ)
おおいに遊び、健康で明るい子供であってほしい。ただし勉強もがんばれよ!

今村真一郎(田・典子)
希望とフライトをもつて、子供らしく健康に育ってほしいです。友達百人作ってね。

安田 拓人(田・豊子)
拓人、失敗を恐れずに、いろんな事体験して下さい。そして友達百人できるようにがんばってね。

長井 洋平(田・春江)
友だちと仲良く遊び、楽しく学び、六年間大きなケガをしないよう過してほしいと思います。

六代 滋(田・恵子)
子供らしさを失わず、そして、自分の意見を言葉で表わせる子になって下さい。

栗田 智久(田・広子)
ともだち、たくさんつくって。たのしいこと、うれしいこと、思い出、いっぱいつくってね。

加藤 拓也(田・香)
いつまでも、素直で、やさしく、たのましい子であってほしい。

森 寛之(田・三千代)
せなかの大きなランドセル。ちえとゆうきとゆめでいっぱいにして、ひろゆきも大きくなあれ。

松田 智之(田・まり子)
あの小さかった赤ちゃん、やっとな年生になりました。素直に伸びていってください。

川上みつ子(田・博美)
みつ子へ、長い学校生活の始まりですね。たくさんのお話を、いっしょに、学んでいきましようね。

染谷 聡子(田・由美子)
学校は楽しいですか? 病気やけがなどせずに、のびのびと育ってほしいと思います。

上野 暢子(田・恵美子)
待ち焦がれていた小学一年生に、やっとなれましたね。いつも笑顔を忘れないで、ガッツで頑張りなう。

伊藤 翠(田・まち子)
何事にも積極的に取り組み、最後まで根気強くやり抜いて下さい。

高松 友美(父・延次)
入学おめでとう。友達をいっぱいつくろう。いっぱい遊んでいっぱい勉強して、いっぱい思い出をたくさん。

谷口 裕理(田・景子)
我が子よ、いつでも「はい」といえる素直な気持ちでいてほしい。

古田 恵美(田・昌子)
いつも明るく、笑顔で集団生活を送ってほしいと思います。

渡邊 加奈(田・優美子)
いつも明るく、すなおでやさしい女の子でいてね! そして友達を沢山つくりなさい。

山口 明子(田・美知子)
これから長い学校生活のスタート!! 楽しく、それにしっかり学びましようね。

山本 由季(田・秀子)
勉強も大切だけど、遊ぶことも大切。そして、友達がたくさんできるといいね。

三橋亜由美(田・通代)
何事にも負けない強い意志を持ち、くじけずに前向きに成長していつて欲しい。がんばれ! あゆみ。

千崎 香澄(田・ゆかり)
ピカピカのランドセルと一緒にピカピカの気持ちで入学した日。そのままの素直な心、忘れずに...ネ。

木下 由香(父・逸夫)
いつまでも人任せにならない様に、自分から進んで勉強やスポーツなど一生懸命がんばってほしい。

渡部 恵美(父・亮二)
勉強に、遊びに、共同生活、その他色々な事を学んでほしい。

堀野 静香(田・栄子)
入学おめでとう。先生のお話をよく聞いて、生き生きとした学校生活を送って下さい。

「ありがとうございました」

会員が、日頃より感じている想いを募集したところ、早速二十五名の方より貴重な意見をいただきました。いずれの意見も子供を想う気持ちで満たされており、心暖かく読ませていただきました。

寄せられた意見の中では、児童の登下校、学級委員の選出に関するものが、7件・5件と数多く、問題意識の高さを示していました。

この他、子供達にもっと何かをしてやりたいとの親の願いと共に、学校・PTA活動への要望も多く寄せられていました。今回は、投稿の多かった登下校・学級委員選出の問題を中心に掲載します。

学級委員選出について

※今年から、各クラスより五人選出されて話し合いの末、一名選ぶという方法がとられました。選ばれた五人というのは、いつも決まった顔ぶれで、前の年にも役をやったとか、中学や幼稚園とも重なってくるかといういろいろあつて、五名の価値がどのクラスもなかったように聞いております。常任委員会も同じ顔ぶればかりです。皆さん一人の方が一年〜六年の間に何度もなるといわれます。そうかと思つても何となく終わる人の方が多い現状です。ひとにぎりの同じ顔ぶれによる

登下校について



れば、朝のあいさつ励行もでき、遅れた子が、おいていかれる事もないと思います。

ーわがこい通学路ー

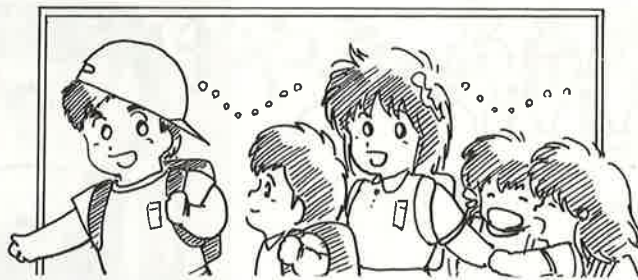
うちの子の通学路は、交通の方は心配ないのですが、人通りが少ないさみしい所で、一人で帰ってくるのこわい気がします。最近愛着者の話も聞きます。心配です。

ー約束を守つてー

時間と場所を守り、班長・副班長が責任を持って何人かを連れて登校するわけですが、時間になつてもグループの子が集合してない

集団より、広く多くの人に機会がある選出方法を考えていってほしいと思います。

声のひろば



※役員選挙の件ですが、家庭の事情も分からないのに投票し、その中で強制的に決める方法は納得できません。全員出席の形で、話し合う場がなければ、私は絶対役員にはなりません。学校といえども家庭や子供を犠牲にするわけにはいきません。個人のプライバシーに干渉する様な方法は古くて悪い習慣です。

その他

ー先生への要望ー

保育園に通っていたせいか、毎日の送りむかえの少しの時間、いつも先生方と、今日の園でのようす、友だち関係、成長したと感じるところなどを…。いろいろなこと少し一言一言おしゃべり程度のコミュニケーションがとれていたのですが。

学校というところは、家庭訪問という形ですが、先生とお話する機会がないのかと少し残念です。特別、あらたまつてお話しに伺うというのも変ですが、毎日連絡帳をめくるのですが…。まっただけではいけないのでしょうか。もう少し学校でのようす、など具体的に知りたいなアーと思うのですが。

一度、集合時間を確認して、子供達に余裕をもつて登校させたいなあ。

ーPTA行事についてー

PTAの存在は大変重要だとは思いますが、でも、P(親)の在り方は大変難しく思います。学校の為、子供の為、何かしてやりたいという親心は分かりますが、今の状態は少し出すぎているのではないのでしょうか。例えば、草刈り、ゴミ焼却炉の掃除等々。五、六年の子供達は、むしろ親より体力もあり、下級生を指導しながらやらせれば出来る事が多々あると思います。たとえ土曜の午後でも、自分達の事は自分でやらせるべきだと思えます。危うかしくても、多少の事は目をつぶつて黙つてみていてやるのもPTAの大きな仕事と思えます。行事だけがPTAの仕事ではないと思つたのですが…。

ー一年生の母親よりー

学校生活が始まり、はや二か月が過ぎようとしています。入学当時、心配していた登下校の遅さも、日に日にたかましく成長する我が子の姿を目のあたりにして、「あつ」と胸をなでおろすまじらひのころです。

今回は紙面の都合上、ご一部の紹介となりましたが、次号以降も引き続き掲載する予定です。このひろばをこれから充実させていく為に、新しい意見・紙面上での討論をお待ちしています。

どうぞよろしく。



PTA総会開催

PTA会長 荒木 正一

昭和六十二年度PTA総会が、去る四月二十四日に会員各位の出席のもとに開催されました。総会の席上にて申し上げましたように、本年度の活動は、次に掲げるスローガンに基づいて進めていきたいと考えております。

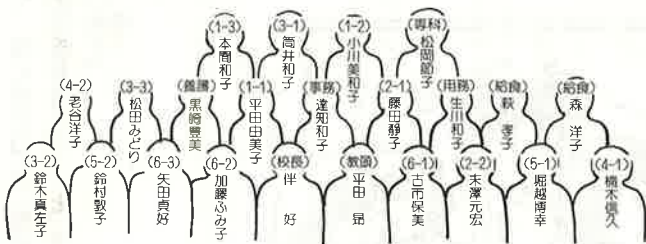
一 家庭・学校・地域が互いに協力をし、本音で話し合う機会を多く持つ。

一 豊かで明るい子供達に成長する様に願って、「あいさつ運動」の展開を積極的に進めると共に、正しい育成の指導にあたる。

充実した活動を行っていく為にも、会員各位の尚一層のご理解・ご協力を賜わりたく、お願い致します。

私達役員も、微力ながら「活力あるPTA活動」をめざして、積極的に研修を重ね、組織の機能的な運営を計っていく所存です。具体的には、各委員会・部会を通して会員相互の意志疎通をはかり、寄せられた情報を大切に受けとめて、内容ある活動をめざします。

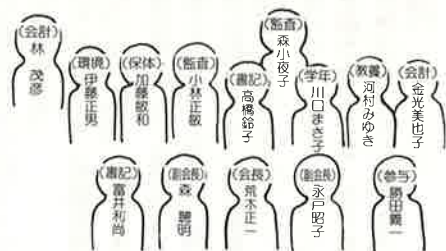
さて、本年も各部にて会員のための行事を種々計画しておりますので、是非お気軽にご参加下さい。又、行事に参加しての「意見をお聞かせねがえれば、来年度への参考とさせていただきます。



「けやき」が、第三回三重県幼小中学校PTA広報紙コンクールにて、優秀賞を受賞することになりました。受賞の感想を前広報部長、森さんにお願いました。

「けやき」幸運の優秀賞!!

一県PTA広報紙コンクール61年度羽津北小PTA広報部は、部員の真摯な使命感と、時の部長の独善とをない混ぜにしながら、「けやき」を発行し、また広報紙コンクールに参加してきました。聞けば夢想もなかった優秀賞受賞、非常な感激でした。「けやき」が少しでも多くの会員



編集後記

★昨年度は県下で表彰を受けた「けやき」ですが、受賞理由が発行回数なのか、充実した内容なのか、それとも…。

とにかく、今年是最優秀賞を目指そうとの意気込み高い、新米編集部です。

★初めての試みに空けておいた白いページ。予想以上の投稿に感激しつつ胸をなでたものの、編集の難しさに改めて溜息をまた一つ。

今後も広く会員の意見を集め、掲載していく予定です。御支援をお願い致します。

これまでの行事

- 授業参観・懇談会 低 (六月四日)
- 中 (六月十八日)
- 高 (六月二十八日)
- 創立五周年行事 (六月七日)
- 親睦インディアカ大会 (六月二十一日)
- 地区懇談会 (六月下旬から)

に読まれるようにと心掛けてきたつもりですが、この思いが一人よがりではなかったことを念じています。ともあれ、今回の審査委員に、本校PTAの先輩(伊藤淳二元会長)が加わっている有利さが最大限に発揮された受賞ではありませんでした。